

| | | | |
|---|---|---------|--------------|
| 科目名 (英文表記) | <p style="text-align: center;">アントレプレナーシップ I (エシカル・アントレプレナーシップ) (Entrepreneurship I)</p> | | |
| 科目区分 | 基本科目 | 単位数 | 2 単位 |
| 担当教員名 | 泉 貴嗣 | ナンバリング | MBA_B_VM5111 |
| 研究室番号 | 420 | 研究室電話番号 | 27-5490 |
| Eメール・アドレス | c-cat22@res.otaru-uc.ac.jp | | |
| 授業の内容及び方法： 次頁以降に記載 | | | |
| 授業の目的： | | | |
| <p>グローバル、ローカル、組織の規模や業種を問わず、現代は環境問題や社会問題がビジネスに大きな影響を与えています。起業、新規事業、組織変革などで、ショートターミズムに陥らず、倫理的なアプローチでこれらの問題に取り組むことは、価値創造とリスクマネジメントの観点から不可欠です。</p> <p>本科目は、これらの問題に取り組む際に必要なエシカル・アントレプレナーシップ(倫理的な起業家精神/能力)の基本的な知識とマインドセットを培うことを目的としています。</p> <p>本科目では、上記の目的のために講義とグループディスカッションによって、ビジネス倫理、サステナビリティ経営、リスクマネジメント、エシカル・ビジネスについて横断的に学習します。</p> | | | |
| 到達目標： | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・現代のビジネスに不可欠なエシカル・アントレプレナーシップのマインドセットを身につける | | | |
| 使用教材： | | | |
| <p>本科目では教科書は指定しません。ただし、受講前にエシカル・アントレプレナーシップのイメージを掴むために、下記書籍の購読を推奨します。</p> <p>『9割の社会問題はビジネスで解決できる』(著)田口一成著(PHP研究所 2021年)</p> <p>下記はエシカル・アントレプレナーの実務家向けの参考図書として紹介します。</p> <p>【書籍】</p> <p>『エシカル・アントレプレナーシップ』(編著)横山恵子、(著)杉本貴志、長谷川伸、宮崎慧(中央経済社 2018年)</p> <p>【ガイドライン等】</p> <p>『中小企業のための人権デュー・ディリジェンス・ガイドライン～持続可能な社会を実現するために』(編著)国際経済連携推進センター(2022年)</p> <p>『責任あるサプライチェーン等における人権尊重のためのガイドライン』(編著)ビジネスと人権に関する行動計画の実施に係る関係府省庁施策推進・連絡会議(2022年)</p> <p>※その他の参考図書がある場合は、講義内で随時紹介します</p> | | | |

成績評価の方法：

成績評価は、以下の評価項目に基づいて行います。

- ・事前・事後課題(最終課題を除く)：60%
- ・最終課題(グループワークで作成)：30%
- ・最終課題におけるグループメンバー間の相互評価：10%

評価に不服がある場合には、不服申立書を以て教務委員長に申し出てください。

履修上の注意事項：

1. 本科目は基本的に【講義+グループディスカッション】の組み合わせで進行します。
2. モジュール3ではゲスト講義を予定していますが、ゲストの予定によっては開催モジュールが変更となる場合があります。
3. 講義の進行状況、受講者の状況などによっては講義内容を変更する場合があります。
4. 提出課題について、レポート課題の場合は評点と共にフィードバックコメントを付けて返しますが、リサーチ課題の場合は評点のみで、フィードバックコメントはありません。
5. 本科目では課題のリサーチのために生成系AIを使うことを認めますが、課題の分析、考察、これらに伴う文章作成で生成AIを使うことを認めていません。生成系AIを使ったことが疑われる場合は、当該モジュールの課題の評点を0点にすることがあります。
6. 本科目ではその特性上、グローバルサプライチェーンと人権問題について言及する回がありますが、特定の国の政治体制等を批判することが目的ではありません。そのため、当該言及についての抗議などは一切受け付けません。抗議などを行った場合は、当該モジュールの課題の評点を0点にすることがあります。
7. モジュール6以降の課題は課外のグループワークが主体となります。
8. 本科目のモジュール8は講義時間を延長し、16時限(21：40終了)まで実施します。

本科目は文部科学省からの委託事業「人文・社会科学系ネットワーク型大学院構築事業」における神戸大学・和歌山大学との共同プログラム「地域/社会課題を解決する対話型ビジネス価値共創人材養成のための価値創発から社会実装までの一貫教育プログラム」の適用科目の一つであり、3カテゴリーのうち価値創発科目群に属します。なお、本プログラムを終了するためには3カテゴリーから1科目以上を履修し、合計10単位以上を習得する必要があります。